

(発行所) 北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話 2551 番
毎旬5の日発行 1ヵ月200円 1カ年前納 2,000円

(発行所) 北海道足寄郡足寄町 とかち新聞社 電話 2551 番
毎旬5の日発行 1ヵ月200円 1カ年前納 2,000円

足寄、陸別にかけての
誉言牧野裁判

この日はからすめてほしいといつた、最終的に手前の道路へ直角に話したが、鈴木益美と道上大郎の二人が十二戸分を二分してもていて、あちこち虫くいにしでやるという、鈴木には権利がなく弟・中川代議士秘書）に権利があり、話しあえる状態ではなく分割はダメになった

岩谷弁護士 残代金の期日、四月三十日に払えないという通知を出したか

石橋氏 四月二十五日（四十七）

廣布市の隨岩谷弁護士 契約のさい分割などは日本企業かやる

証言に

今すぢを氏黒田

石橋氏 宮口氏から電話で十二戸は午後三時まで、まごまるといふので、宮口氏は立派な人なので、十二戸が売ってくれると思つた。長尾裁判長 三十八名との契約は午後三時に隣にヌラすべきでなかつたか。石橋氏 そう思つてゐるつゞいて宮口政雄証人にたいする尋問にうつりから三十八戸から委任をう

十二戸の話しをしたか
長尾裁判長 契約のさい
くわしく知らない
石橋氏 話しはあるが、
額で転売したのでないか
はこの土地を二倍以上の金
松浦弁護士 日本企業で
三十八名がすべきた
石橋氏 十二戸の分割は
いか
代金も払わず悪いと思わな
が反対しても裁判でできる

日本社会

松浦弁護士 十二戸の苦
情は買主が処理して組合に
迷惑をかけないというが
宮口氏 第一条件だが、
臨海興業の桂井社長は十二
戸は私の会社でまともたか
ら三十八戸をまともてくれ
ればよいという、十二戸は
心配ないと証明書をもつて
いた
松浦弁護士 あなたは仲
情云 岩倉
利を望
宮口
いな
有で
岩倉
万円
上乗
宮口
万円

森林組合長の近藤さんから
畜牧野は困つたとの話を
きき梅森さん（当時の牧野
組合長）に経過をきき、十
二戸の代表の道上さんにあ
つたら私も売りたいとの
話して、すぐ梅森さんに話
したが笑つて乗り気ではな
かつたが、道上さんから再
三、四日たち役員会の
帝に招かれ、これこれの条
件として委任をうけた
松浦弁護士 梅森氏が乗
り気でないというのは
宮口氏 いままでの経過
から話しが變るから信用で

長岡一代交配苗

ら原告側は臨海興業の桂井社長、被告側は鈴木定一氏をそれぞれ証人に立てることにして午後四時五十分閉廷しました。

なお、この日の西証人の証言にはくい違いがあり、証言のなかに登場している当の鈴木益夫、道上太郎の西氏によれば、かなり事実と反している部分があるとのこととで、問題はこれからということになりそうです

会を打ち倒して社会主義社会をうちたてるべくガングレツていく』と決意を述べていました。

長月兼平 午後三時
 でに十二戸がまゝと云ふ
 橋氏に電話したのでない、鈴
 宮口氏 木氏に前の日に叱られた
 岩谷弁護士 なせおこられた
 のか、道土氏は十三戸の
 の分を任ぜるといつたので
 ないか
 宮口氏 鈴木氏でなければ
 ならぬといふ
 岩谷弁護士 二十一日の
 契約のあと鈴木氏のところ
 へよつたのは
 宮口氏 でければ十三戸
 が売るなり分割をしてほし
 いと頼んだ
 などの問答があつて、次

信用は最大のサービス

新造、改造する方など
足寄町本通り三丁目 丁二三四五

足寄不動産事務所

北越道免許 十 26

昭和、興和火災保険代理店

代付登記損害保険代理まで

調査売買 あつせん管理分譲

足寄町大通り山口警察駅前 丁二四二

トレス
物一式
校ベツド
一式

我替中古量 2 ス 2 張替

小林量店
小林榮三郎

足寄町大通り 丁 二五二

北海道 **カサギ・エー・エー・エー**
 札幌市中央区北七条西20丁目(羽根木材街内)
 TEL 札幌局(011) 631-4411
 取締役社長 羽 磨 欣 一
 道東支店 足寄町北3区 (代) 319
 ハウス展示場 札幌市東区北7条東1丁